



## 最終回 福井大学 熊本保健科学大学

本連載では、2020年度から始まった特定行為研修を組み込んだ認定看護師教育（B課程）の教育機関を紹介してきた。最終回ではB課程の教育を開始した2機関に経緯を聞いた。

### 北陸に認知症の教育課程を

福井大学医学系研究科附属地域医療高度化教育研究センター看護キャリアアップ部門（以下、看護キャリアアップ部門）は、手術看護を含む2分野の認定看護師の養成に2011年から取り組んできた。2020年度から新たに認知症看護（B課程）の教育に取り組むことになった背景には地域のニーズがあった。今回の導入にあたり、県内の病院看護部にアンケートを実施。その結果、認知症やがんに関するニーズが高いことが分かった。「北陸地方で認知症看護を受講できる教育機関が少ないことなど、地域の状況を鑑みて認知症看護を開講することにしました」と看護キャリアアップ部門長の長谷川智子さんは開講の経緯を振り返る。

初めて認知症看護分野を開講することで「心配もあった」と話す長谷川さん。特に教員の確保には苦労したが、認知症看護の質を高めることで地域医療に貢献できるとの考えは近隣の医療機関等でも共通認識だったことから、開講に

こぎつけることができた。

新型コロナウイルス感染症の影響により、集合研修は困難になった。しかし4月から2カ月程度はeラーニングを実施するスケジュールだったため、リモート学習へ切り替えた。それにより研修者のeラーニングの学習状況を細かくモニタリングすることができ、個々の進捗状況に応じて細やかにフォローが行えたなどのメリットもあった。6月からは集合研修を開始。県外の研修者には、福井県入りした後に2週間の自宅待機をしてもらうなど対策を徹底し、予定したスケジュールを順調にこなしている。

新たな分野の教育を開始した看護キャリアアップ部門。チャレンジングを取り組みだったが長谷川さんは「医療機関等と協力しながら地域ニーズに応えることは教育機関としての使命であり、面白さだと思うので、B課程の開講に前向きに取り組んでほしい」と教育機関へメッセージを送る。

### B課程受講メリットの周知を強化

熊本保健科学大学キャリア教育研修センター（以下、キャリア教育研修センター）では、2009年から脳卒中リハビリテーション看護を含む3分野の認定看護師の養成を行ってきた。認定看護師制度の改正により、脳卒中リハビリテーション看護から脳卒中看護へ名称変更となった。それに伴い、2020年度からの全国唯一となる脳卒中看護の開講準備を進めてきた。「名称が変更になったことで、救急医療の場での活躍や地域住民の健康支援でもスペシャリストとして予防的な取り組みが増えることを見越

して対応を急ぎました」と同教育課程長の橋本宜子さんは振り返る。また、特定行為研修を認定看護師教育課程に組み込むことで医師とのコミュニケーションがより円滑に進むことが期待できるため「チーム医療における連携の向上が見込めます」と脳卒中看護分野の主任教員である飯山有紀さんは受講のメリットを話す。

急ピッチで開講準備に動いたキャリア教育研修センター。脳卒中看護（B課程）開講にあたり、脳卒中リハビリテーション看護（A課程）での実績があった分、協力は得やすかったが、それでも特定行為研修の共通科目や区分別科目の講師手配には予定よりも時間を要した。

2020年度のB課程の研修者は3人。予想よりも受講希望者が少なかった結果について、「開講準備に追われ、B課程の受講メリットなど十分な広報ができなかった結果かもしれません」と橋本さんは分析する。また、周知の面では特定行為研修を受講するメリットをもっと伝える必要性を感じたという。特定行為研修は、受講することで判断力の強化やアセスメント力の向上に寄与することよりも、行為が実施できるようなことになることが向けられる傾向がある。「タイムリーなケアの提供だけでなく、状況に応じて『実施しない』という判断ができる」というメリットを伝えていきたい」と方針を語る。

教育課程概要：①福井大学…2020年4月より認知症看護認定看護師教育課程（B課程）を開講し、研修者は13人。②熊本保健科学大学…2020年4月より脳卒中看護認定看護師教育課程（B課程）を開講し、研修者は3人。